



## 「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」 に関する解明申し入れ 第2回団体交渉(3/17)を開催！ No.3

申10号

13. 「魅力と活力のある業務の構築」の考え方と内容について明らかにすること。

【組合】	【会社】
<p>○線路モニタリング技術をはじめとするシステム・アプリケーション開発と他社展開とは具体的にどのようなことか。</p> <p>○ローカル線メンテナンスにおける保守業務策定等の技術支援とはどのようなことか。</p> <p>○海外鉄道コンサルティング業務等を推進とはどのようなことか。</p> <p>○モニタリングなどの他社展開、他鉄道事業者との共通プラットフォームの開発など、どのくらいのニーズがあるのか。</p> <p>○現状での保線職場におけるエンゲージメントは何か。またエンゲージメントを感じることがないから、離職するのではないか。</p>	<p>○具体的には RAMOS の拡大である。</p> <p>○既に実施しているものでいえば、いすみ鉄道の復旧方法に関する支援や弘南鉄道社員への教育・研修の実施などである。</p> <p>○海外に目を向けた場合、受注があれば JR 東日本が保有している技術で稼げないかと考えている。オペレーションとメンテナンスを売り出している。既に実施しているものとしては、シンガポール・インド・タイなどである。インドでの鉄道工事においては少し遅れが出ているものの、タイのパープルラインにおいては予定通り進捗している。</p> <p>○ニーズの考え方はそれぞれだが、説明に来てほしいという企業は30社を超えている。その中で数社は導入に向けて具体的に進めているところもある。また、売り出す一方で他社の素晴らしい技術を取り入れる動きもある。</p> <p>○<u>本施策は、エンゲージメント向上も1つの要素である。人によっては、エンゲージメントが上がる人もいれば、下がる人もいる。</u>最後は、職場でのコミュニケーションが大きく寄与するのではないかと考えている。</p>

14. 「新たな価値を創造する技術者集団」の考え方と内容について明らかにすること。

【組合】	【会社】
<p>○新たな価値を創造する技術者集団をめざす3つの考え方について、どのように好循環を創出するのか。</p> <p>○系統別のキャリアパスのみえる化、育成プランの見直しと充実化、グループ・パートナー会社等と相互出向による業務経験の拡大、メーカー等への出向による専門技術の習得など、これらも本施策の対象なのか。</p>	<p>○外に目を向けて、様々な道を用意する事で好循環が創出されると考えている。</p> <p>○そうだ。組織再編以降、キャリアプランが見えにくいとの声もあった。それに対して、様々な具体的事例を示す資料として提供している。MOT2027の資料で記載している育成プランの見直し・充実化とは、若手の7年育成プランとは別であり、その先を見据えたプランの見直し・充実化である。</p>